

平成 19 年 10 月 4 日
大阪ウォーターフロント開発(株)広報課
〒552-0022 大阪市港区海岸通 1
TEL06-6576-5529 FAX06-6576-5551
<http://www.kaiyukan.com/>
(担当：松原、清水、西村、齋部、松森)

海遊館で初めて！

「日本の森」に「カイツブリ」を展示！！

潜水する姿をご覧ください

大阪市港区の海遊館では、平成 19 年 10 月 5 日(金)から、館内 7 階「日本の森」水槽において、海遊館では初展示となる水鳥の仲間「カイツブリ」3羽を展示します。

「カイツブリ」は器用に水を掻いて潜水し、水中も巧みに泳ぐことから、水面とは異なる水中の様子をご覧ください。

「カイツブリ」は、ユーラシア大陸やアフリカ、オセアニアの温帯に生息する水鳥で、日本でも全国各地の平野部の湖沼、河川などでよく見かけることができます。また、琵琶湖には、古来より数多く生息していることから、滋賀県の県鳥にも指定されています。

多くの水鳥の仲間は、足の指に膜状の水かきをもっていますが、「カイツブリ」には、膜状

の水かきはなく、足の指一本一本が船のオールのような形になっていることから、他の水鳥よりも水を掻いて潜水することが得意といわれています。また、潜水することで餌を捕食したり、外敵から身を守ったりします。

今回展示する「カイツブリ」は3羽ともほぼ同じ大きさで、体長が約 20 cm、体重が約 190g で、昨年春にヨーロッパで繁殖させた個体です。今回の「カイツブリ」の展示については、より実際の生息環境を再現するため、小型の「モロコの仲間」も併せて展示します。

海遊館では、お客様に少しでも多くの生き物に興味をもっていただくため、通年飼育展示をしている生き物に加えて、珍しい生態を持つ生き物やおもしろい行動をする生き物などを、随時追加展示していきます。



カイツブリ

1.【「カイツブリ」の展示について】

展示開始日 平成 19 年 10 月 5 日（金）から

生き物の状態により、予告なく展示を中止又は、展示数を変更する場合があります。

場 所 海遊館 7 階「日本の森」水槽

展 示 生 物 カイツブリ 3 羽（オス 1 羽、メス 2 羽）

（それぞれ 3 羽ともほぼ同じ大きさ 体長約 20 cm、体重約 190g）

2.【カイツブリについて】

カイツブリ 英名 Little grebe 学名 *Tachybaptus ruficollis*

カイツブリ科。ユーラシア大陸やアフリカ、オセアニアの温帯に生息し、日本でも全国各地の平野部の湖沼、河川などでよく見かける水鳥です。多くの水鳥の仲間がもつ、膜状の水かきはなく、船のオールのような形の弁膜^{べんまく}とよばれる足の指で水を掻いて泳ぎ、潜水にも適しています。頻繁に潜水することでエビや小魚を捕食し、外敵から身を守るのが特徴です。体色は茶色で、成長すると体長は約 25cm になります。

3.【「日本の森」水槽について】

水槽容量 60t、気温は外気温と同じ、水温 15～23℃、展示面積 430㎡。

日本の森林を再現し、コツメカワウソやオオサンショウウオなどの水辺に生きる生き物、渓流の魚類など、約 30 種類の生き物を展示しています。